

Chorus  
Ohyama  
with  
Toyama  
Kammerphil-  
harmonie  
Orchestra



**合唱団おおやま**

～フォーレ「レクイエム」 & 宮崎駿の世界～

with **富山カンマーフィルハーモニー・オーケストラ**

と き / 2003年**8月31日(日)** 13:30開場 14:00開演

ところ / **大山町民文化会館大ホール**

主催 / 大山町・大山町教育委員会・合唱団おおやま 共催 / 北日本新聞社 後援 / FMとやま  
大山町の助成金により低料金で鑑賞できます。



## ♪演奏曲目

### 1 宮崎駿の世界 / 編曲 常楽 明男・丸山 嘉夫

- (1) ナウシカ・レクイエム (「風の谷のナウシカ」より) —— (作曲:久石 譲 編曲:丸山 嘉夫)
- (2) 君をのせて (「天空の城ラピュタ」より) —— (作詞:宮崎 駿 作曲:久石 譲 編曲:常楽 明男)
- (3) となりのトトロ (「となりのトトロ」より) —— (作詞:宮崎 駿 作曲:久石 譲 編曲:常楽 明男)
- (4) もののけ姫 (「もののけ姫」より) —— (作詞:宮崎 駿 作曲:久石 譲 編曲:丸山 嘉夫)
- (5) いつも何度でも (「千と千尋の神隠し」より) —— (作詞:覚 和歌子 作曲:木村 弓 編曲:常楽 明男)

### 2 ラヴェル 組曲「クープランの墓」

- 1 — 前奏曲 ———— *Prélude*
- 2 — フォルラーヌ ———— *Forlane*
- 3 — メヌエツト ———— *Menuet*
- 4 — リゴードン ———— *Rigaudon*

1916年、第一次世界大戦の従軍から帰還したモーリス・ラヴェル(1875~1937)は、以前、17世紀フランス・バロック音楽の巨匠であるフランソワ・クープランを讃えるために書き始めていたピアノ曲を、大戦により死亡した彼の友人たちを追悼するため完成させ、戦死した彼らへの讃歌とした。このピアノ組曲は6曲からなり、17世紀風の組曲の形式で構成され、簡潔で透明度の高い書法により書かれている。今回演奏されるオーケストラのための組曲は、ラヴェルがその後、このピアノ組曲から4曲をオーケストラのための組曲に編曲し、1920年に初演されたものである。簡潔な形式の中にラヴェル独自の美しい旋律と色彩感のあふれる音楽が作り出されている。

休憩(20分間)

### 3 フォーレ 「レクイエム」

- 1 — 入祭唱およびキリエ — *Introït et Kyrie* — 永遠の安息を彼らに与えたまえ~主よ、憐れみたまえ
- 2 — 奉獻唱 ———— *Offertoire* ———— 主イエス・キリスト
- 3 — サンクトゥス ———— *Sanctus* ———— 聖なるかな、万軍の神たる主
- 4 — ピエ・イエズ ———— *Pie Jesu* ———— やさしいイエスよ
- 5 — アニウス・デイ ———— *Agnus Dei* ———— 神の小羊
- 6 — リベラ・メ ———— *Libera Me* ———— 我を永遠の死から解放したまえ
- 7 — 天国にて ———— *In Paradisum* ———— 天使らがあなたを天国へ連れて行くように

「レクイエム」とは、死者のためのミサ曲のことで、亡くなった人の安息を祈るカトリック教会の儀式の際の音楽を指す。フォーレ(1845~1924)は、このレクイエム以外にほとんど宗教曲を残していないが、この曲は、モーツァルト、ヴェルディと並んで3大レクイエムと称される名曲である。

通常のレクイエムが、入祭唱(レクイエム)に続いて、劇的なディエス・イレ(怒りの日)があるのに対し、本曲では、ディエス・イレは除かれ、また、通常終曲であるリベラ・メの後に、まさに楽園的な美しいイン・パラディスム(天国にて)を加えている。のみならず、曲全体を通して、他のレクイエムのような劇的な要素は極力排除され、つつましい禁欲と節度の中に、中世の教会調の旋法やフォーレ独特の近代的な調性感覚と和声法により、美しい響きと個性的な魅惑がこもり出されている。

#### ♪指揮者 吉川 英貴



富山市生まれ。富山県児童生徒音楽コンクール第1位、並びに福井音楽賞、CBC子供音楽コンクール第1位、NHK毎日新聞社主催全日本学生音楽コンクール西日本第1位。桐朋学園音楽大学音楽学部ディプロマ・コース在学中に新日本フィルハーモニー交響楽団アシスタント・コンサートマスターに就任。その後、1982年から1989年まで東京交響楽団コンサートマスター、1990年より1997年まで名古屋フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスターを務める。ヴァイオリンを、大沢和夫、三塚実、岩崎洋三、久保田良作各氏に、また、室内楽を斉藤秀雄氏に師事。室内楽奏者、指揮者としても活躍中。富山カンマーフィルハーモニー・オーケストラの設立と同時に音楽監督に就任。

#### ♪ソリスト バリトン/内山 太一



武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学卒業。シューベルトの三大歌曲集「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラや、「メサイア」、ベートーヴェン「第九」等、数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度1年間ドイツに留学。合唱団おおよま、入善混声合唱団、コスモホール少年少女合唱団「くびりど」、上市町子供の城児童合唱団、等の指導。元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。大地の会主宰。

#### ♪ソリスト ソプラノ/金川 睦美



富山市出身。武蔵野音楽大学音楽科卒業。ソリストとしてはヘンデル「メサイア」を始め、ベートーヴェンの「第九」、コダーイの「テ・デウム」、フォーレの「レクイエム」など。オペラでは富山初演の「奥様女中」が日本に舞台を移した独自の解釈で好評を得たのをはじめ、第1回富山市民オペラ「手古奈」の手古奈、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルデリーゼ、「魔笛」のバミーナ、夜の女王、「月の世界」のクラリーチェ、「椿姫」のヴィオレッタなど。今年の「県民がつくるオペラ・ガラ・コンサート」では田口興輔らと共演するなど県内のオペラで中心的存在。リサイタルやミュージカルの出演も多い。94年にはフランスの大学院大学イスガの開学式に招待されて日本歌曲およびオペラを歌う。

オルガン/豊嶋 比呂子 東京コンセルヴァトアール尚美電子オルガン科卒業。これまで各種コンサートにおいて、「ヘンゼルとグレーテル」「魔笛」「ジャンニスキッキ」「手古奈」「シューベルトミサ曲」「サウンドオブミュージック」などを編曲、演奏する。その他、富山県童謡フェスティバルや魚津の街の音楽会等でも電子オルガンの編曲や演奏を担当。現在、財団法人ヤマハ音楽振興会の講師として開進堂楽器で指導に従事。元、洗足学園魚津短期大学講師。大山町在住。



Chorus Ohyama

# 合唱団おおやま

95年8月に大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。  
以来、毎年夏にオーケストラとの共演による公演を重ね、今回が8回目の公演である。  
毎週水曜日の夜に、大山町民文化会館で練習を行っている。

## ソプラノ

石動 有理 / 板 直子 / 岩竹 幸絵 / 岩竹 李奈 / 岡本 紀子  
加藤 一美 / 木村まゆみ / 熊倉 真子 / 熊倉 理子 / 島林美寿穂  
瀬尾 智子 / 高田 和美 / 谷崎 千紗 / 谷崎 千鶴 / 谷本真理子  
中川 律子 / 橋場 映子 / 松井千代美 / 宮原百合子

## アルト

麻島 利子 / 石動 和子 / 稲垣 聖子 / 井上 澄子 / 奥野 知子  
片山美富里 / 小泉 康子 / 高木 茂子 / 高橋 英子 / 仲井 葉子  
長原 啓子 / 平崎 康子 / 村椿 伸子

## テノール

谷崎 修一 / 土山 治男 / 東海 廉之 / 森清 篤実

## バス

大磯 覚昌 / 窪田 英史 / 中村 諭 / 野入 豊光 / 野尻 芳邦  
松井 輝 / 宮元 美信 / 横川 厚雄

合唱指揮 **内山 太一**

コレペティトゥーア **板 直子**

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。1993年より板直子&長崎裕子アンコール・プリュピアノデュオコンサート(第1回~第4回)を開催。1994年、第2回国際ピアノデュオコンクール(於東京)本選出場、入選。その他、むさしの会市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。また、声楽や器楽の伴奏も行う。現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、合唱団おおやまピアニスト、アンコール・プリュ主宰。

「レクイエム」  
賛助出演 **入善混声合唱団**

合唱指揮 **内山 太一**

ソプラノ 泉 由美子 / 音頭万里子 / 君島 良子  
坂本 利子 / 高見 玲子 / 土井 暁子

アルト 太田美恵子 / 寺崎 宮子 / 長谷川保寿子  
見沢 通恵 / 綿 真里子

テノール 田中 哲彦 / 長谷川 邦夫

バス 扇原 桂一 / 月岡 慶孝 / 屋木 栄  
米沢 年勝

Toyama Kammerphilharmonie Orchestra

# 富山カンマーフィルハーモニー・オーケストラ

富山カンマーフィルは、社会人の室内管弦楽団として2000年に誕生。年2回(春・秋)定期演奏会を行っており、今年の秋には富山市民プラザにて第8回定期演奏会を行う予定。メンバーは現在約50名。年齢層は20代~50代で職業も様々であるが、オーケストラを愛するメンバーは日曜日の午後、呉羽にある富山市民芸術創造センターで練習に励んでいる。カンマーフィルの最大の魅力は毎回の練習にある。音楽監督は新日フィル、東響、名フィル等のプロのオーケストラでコンサートマスターを務めてこられた吉川先生であり、練習指揮者ではなく、全て吉川先生の指導で練習している。メンバーが同調し、よりよい音楽を追求しているオーケストラである。